

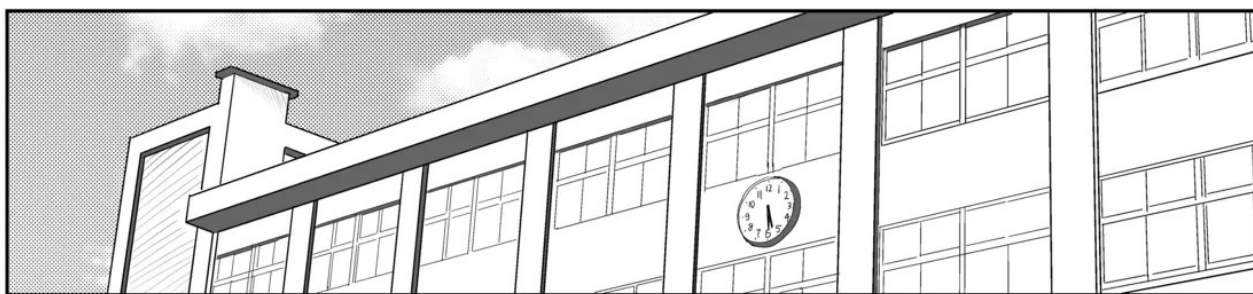
R-18

For adult only

おにからすだち

それイケ！
魔法少年

第一話 魔法少年誕生



戦いがあった

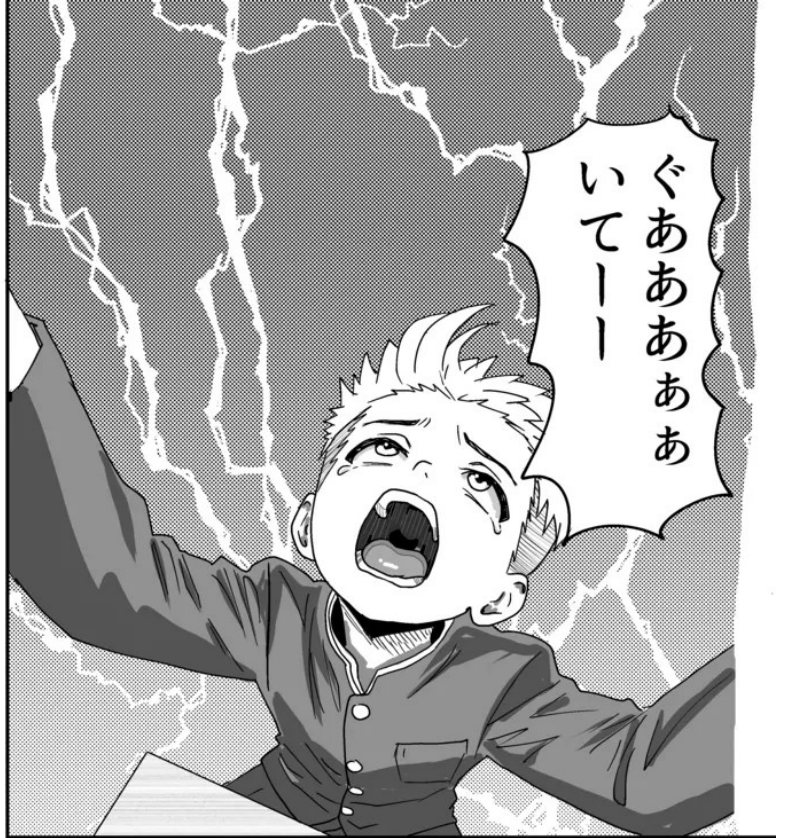


負けられない



ゴッ















それ以来
いろいろ
勝負したけど

まだ健吾が
オレに一回も
勝てて
無いんだよね

そういや
昔はヒーローに
なりたかったんだっけ



創大：
初めてって：

？
そうだけど
見てたら
できるだろ？
普通に



あれ：
負けた：



一回も!?
健吾くんが
得意なの
なかったの？

昔俺だけ柔道
習ってた時に
柔道勝負したけど

姑息ね



姑息ね

意外と姑息
お泣いてる



健吾：



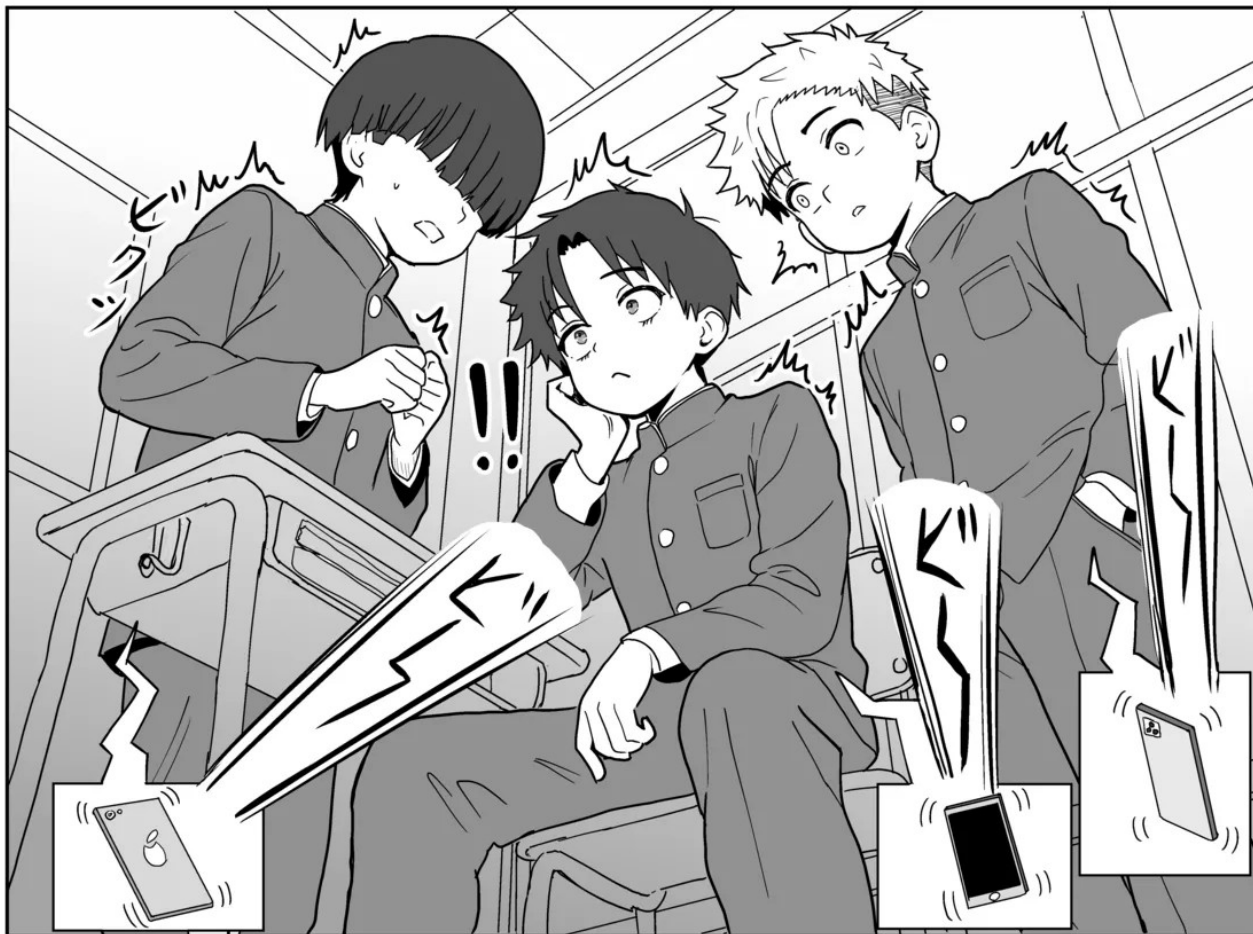
でもどうしても
勝ちたくて

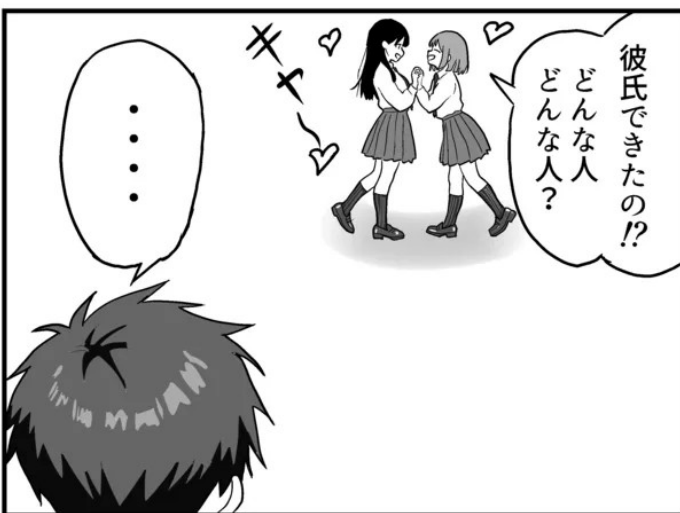
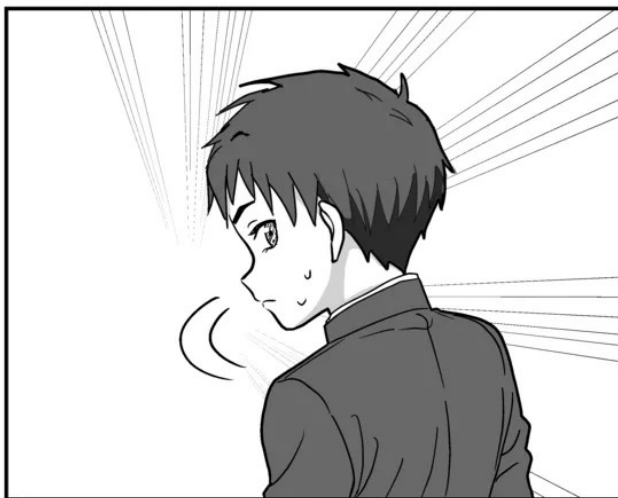
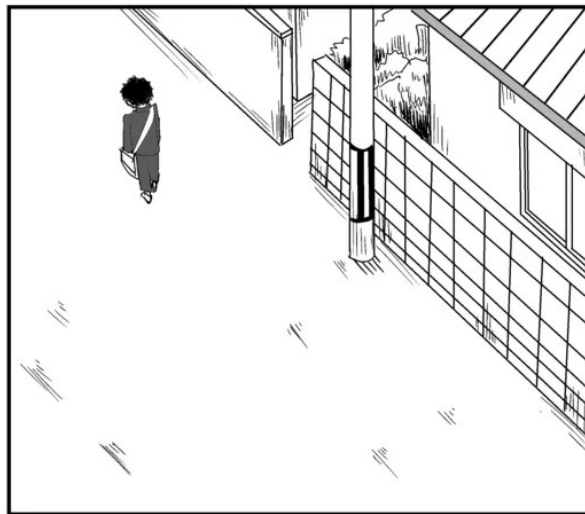
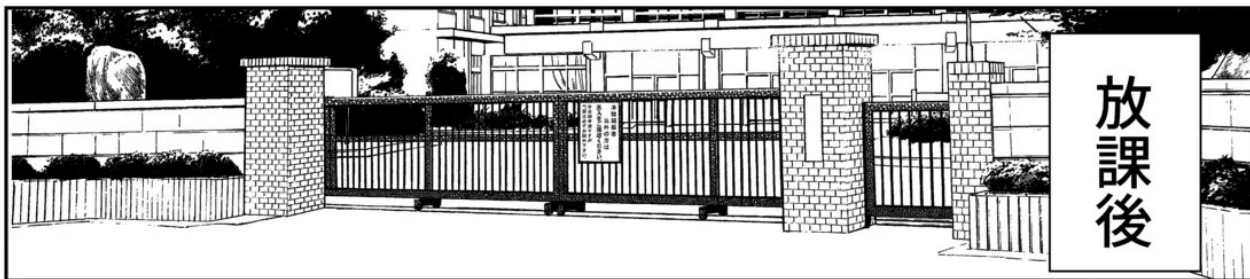
さっきの勝負も
がたつく椅子
に替えたり
眩しいように
鏡置いたのに



この天才が!!









油断大敵ー！！

おわー

わっ
流暢に喋った上に
名前把握されてる！

にっこり



妖精局営業2課の
エナガと言います
よろしくエナ！

かくやくそうた
赫奕創大くん

何事？
何事？



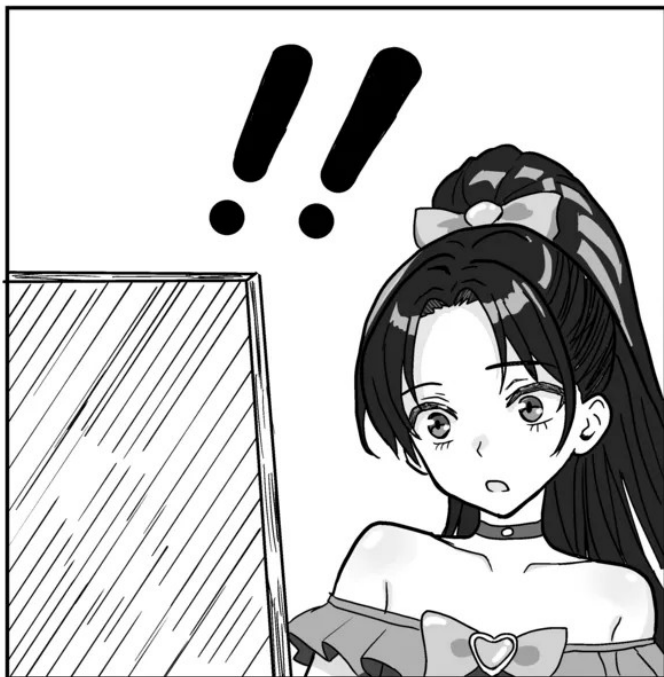




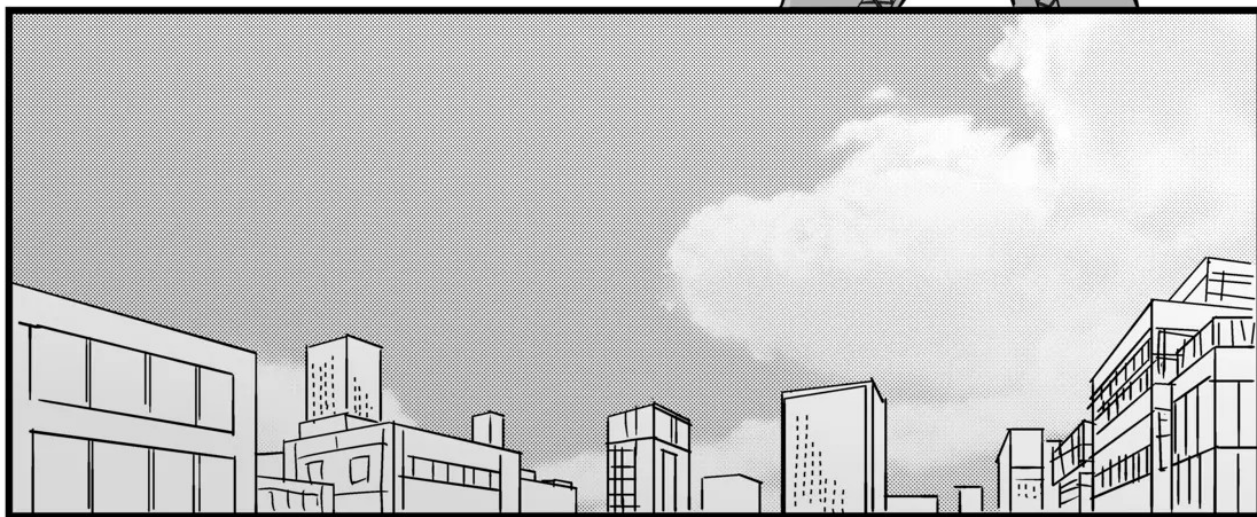
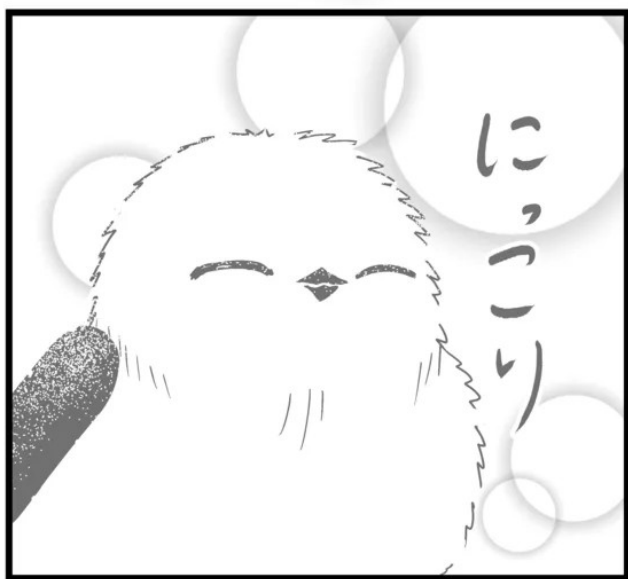




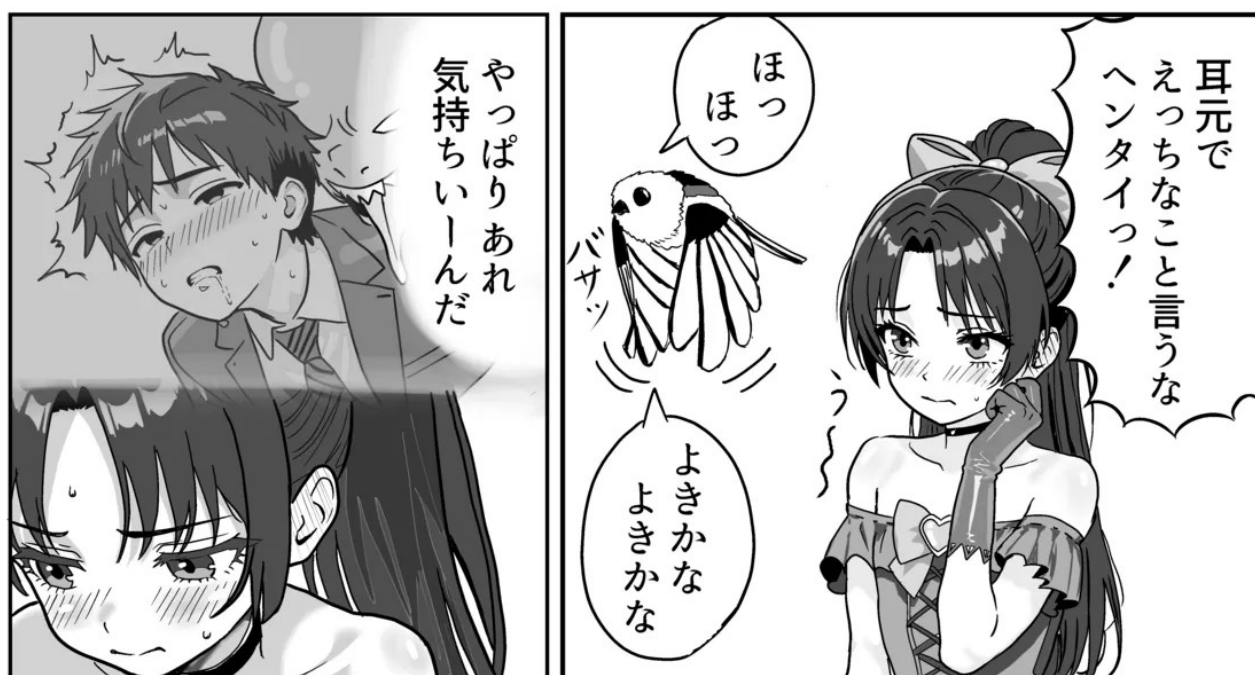
魔法少年レッド
見参！



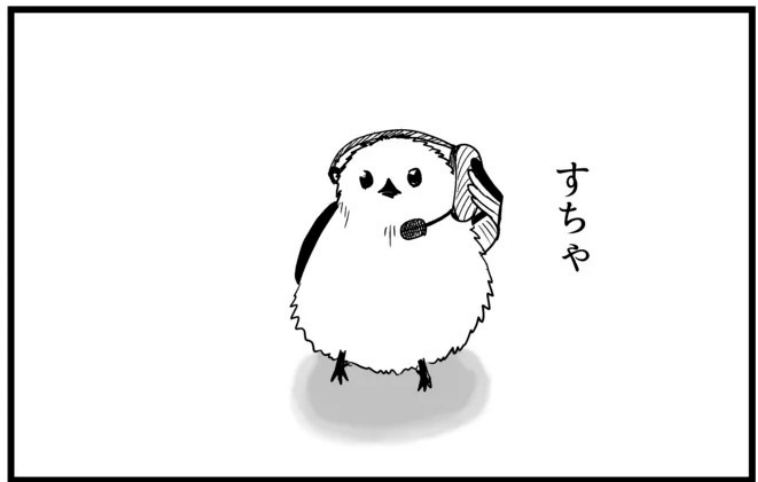
恥ずかしく…
なんてない…！



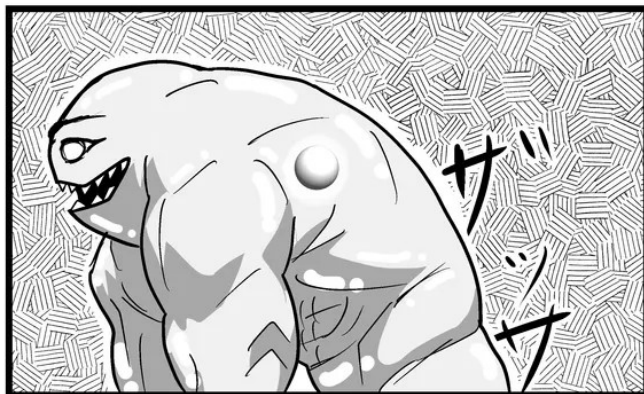


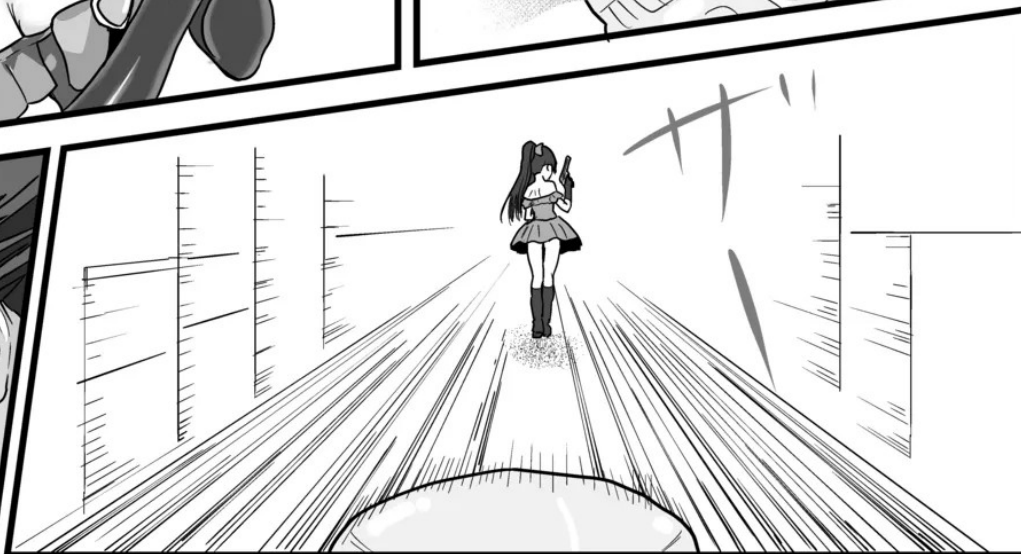
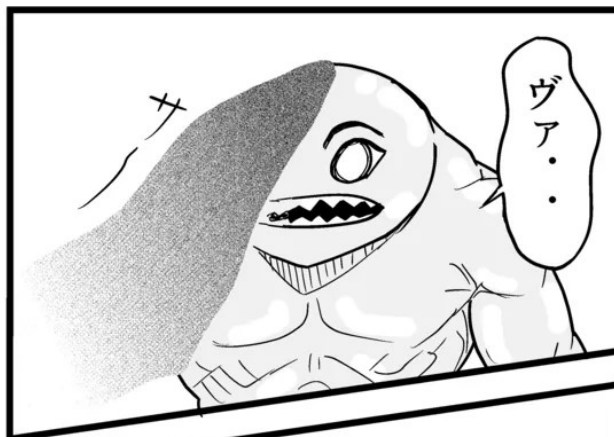
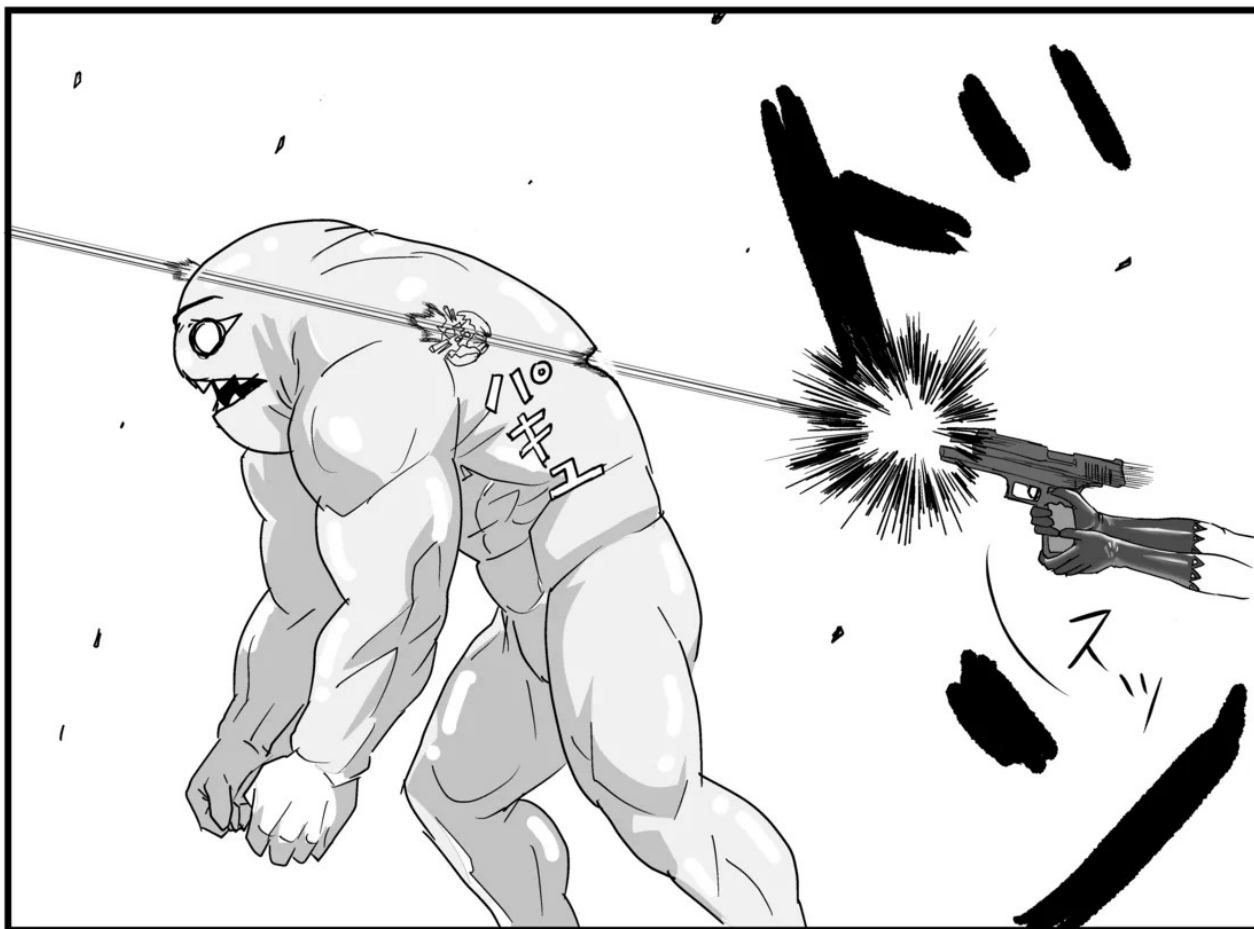




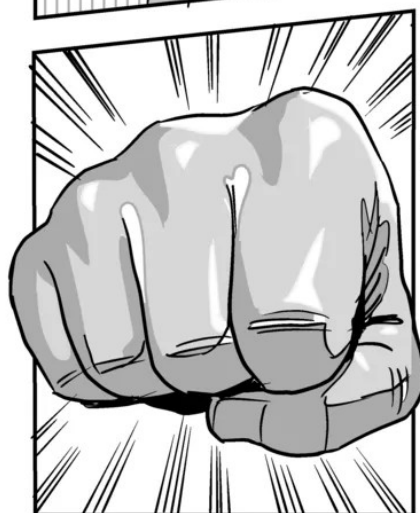
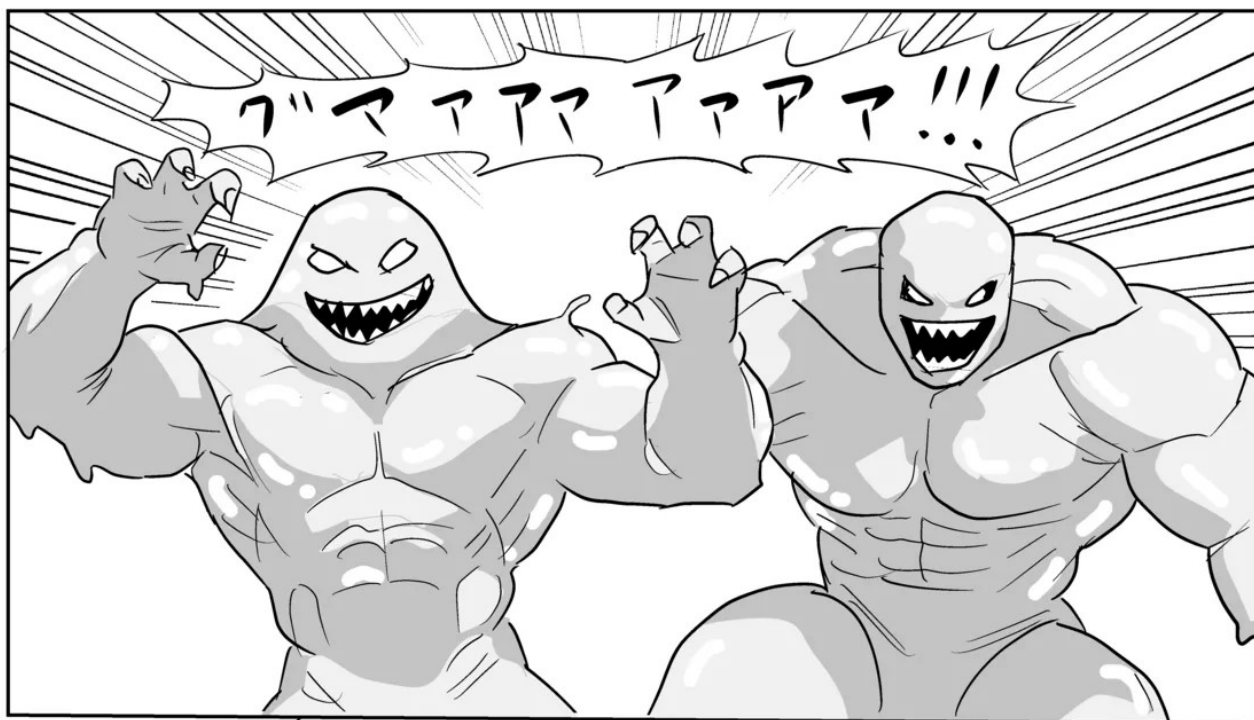


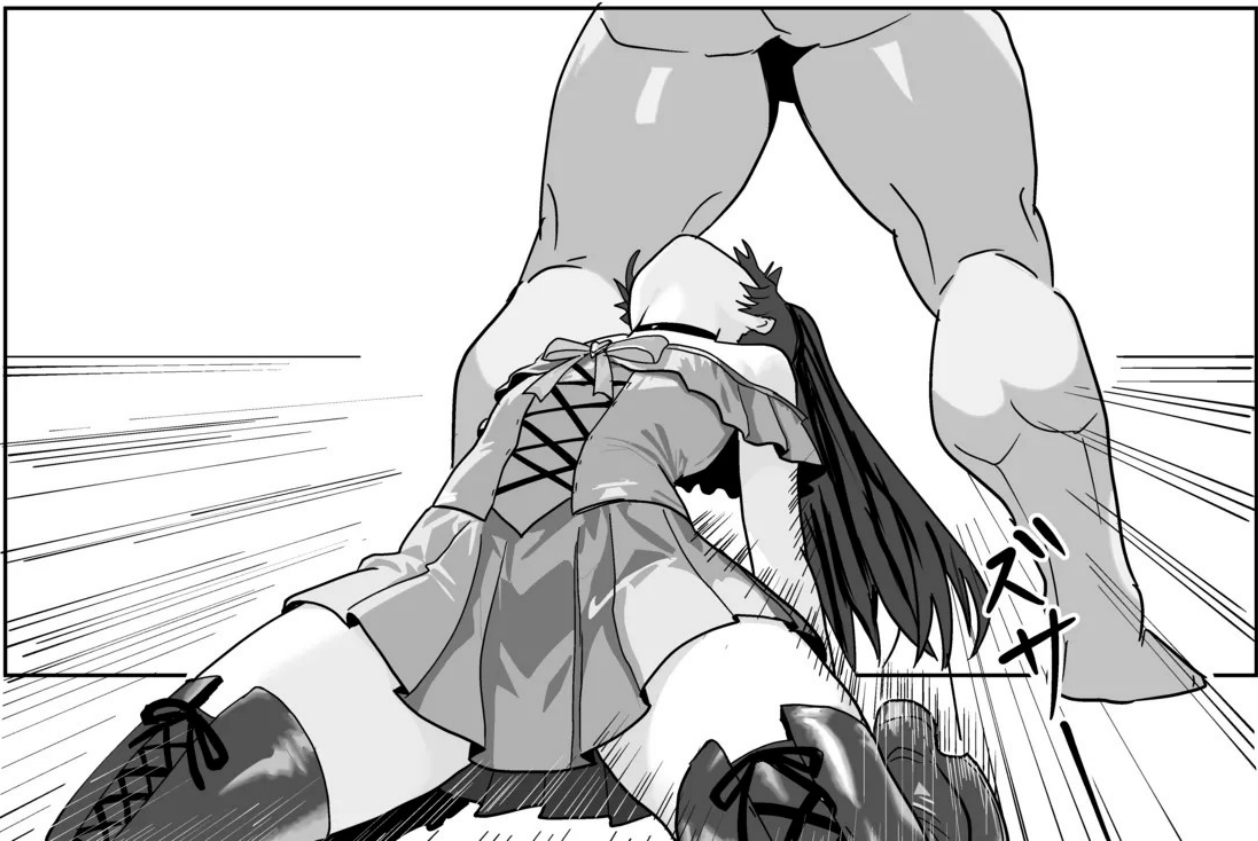


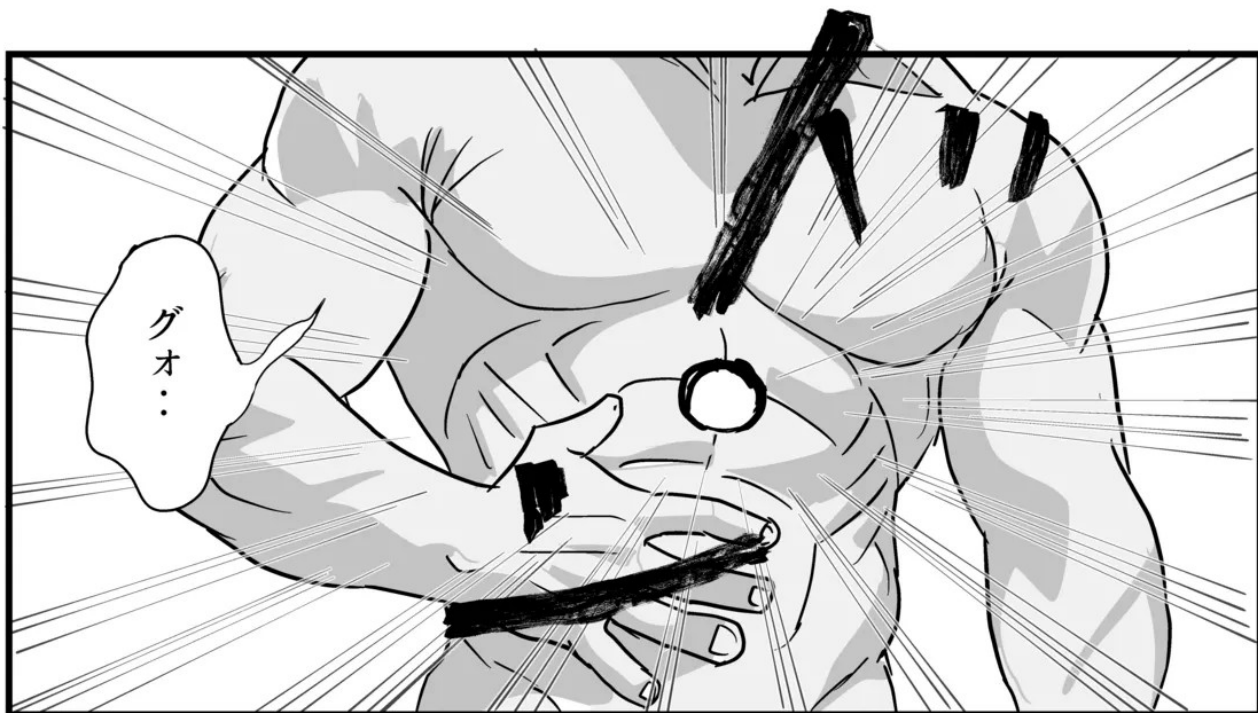




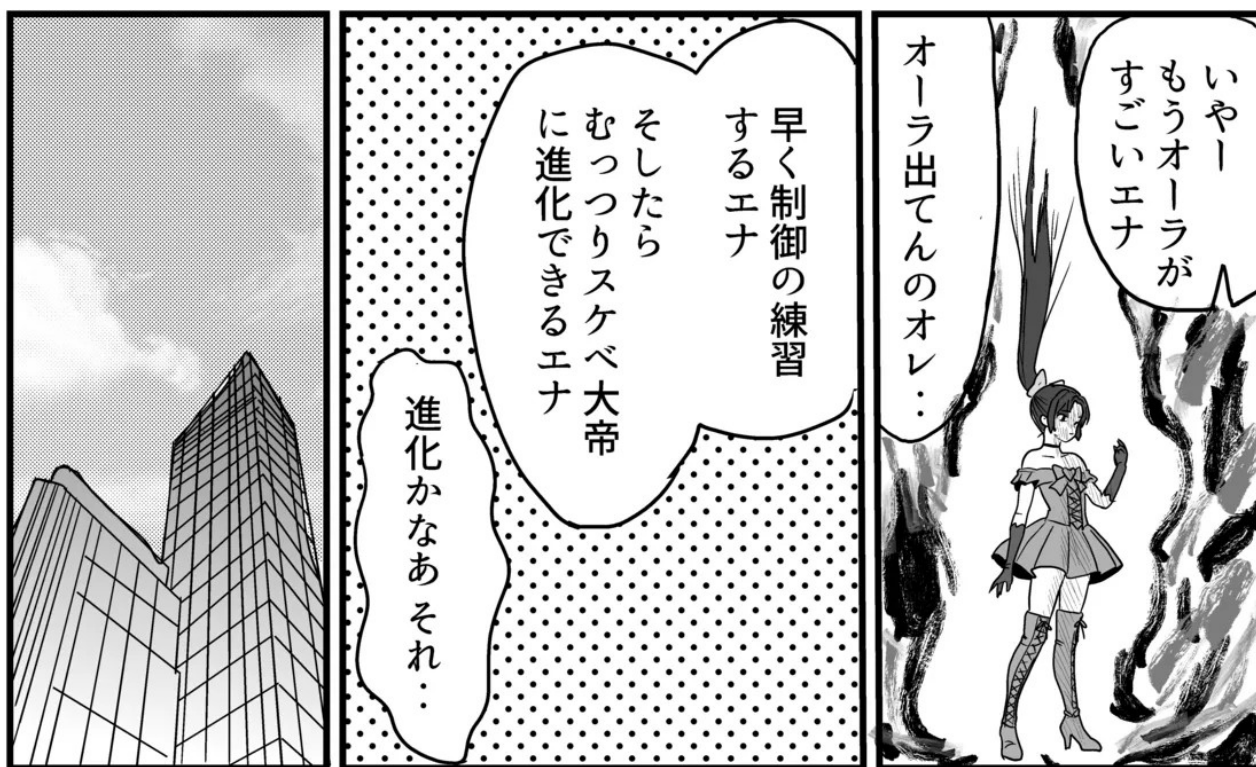
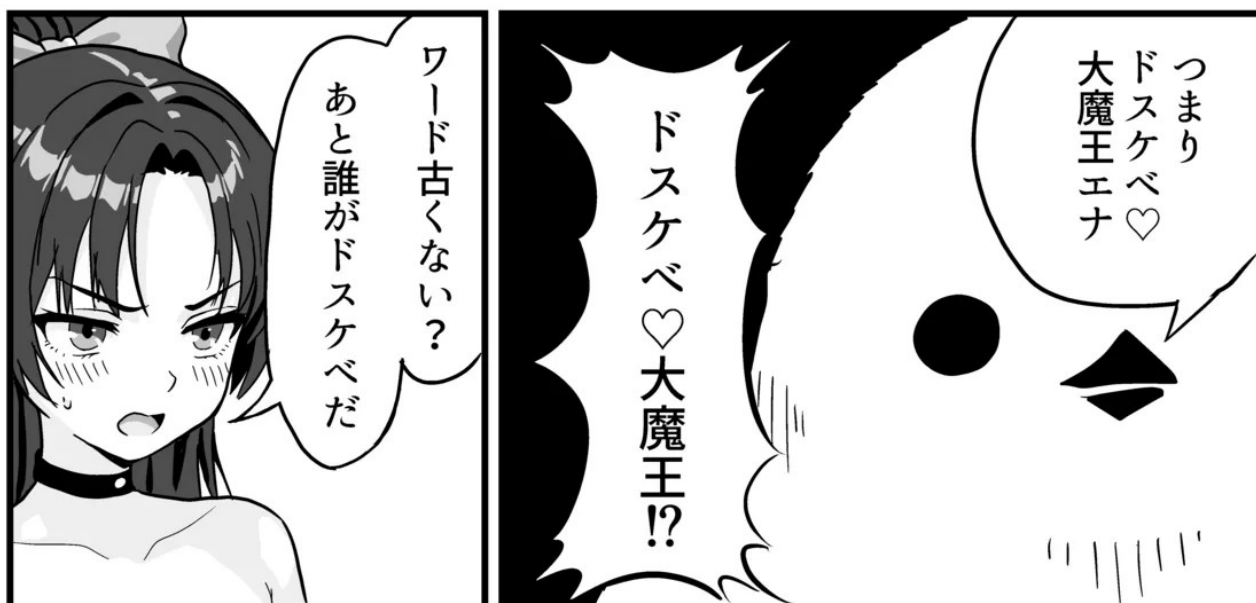
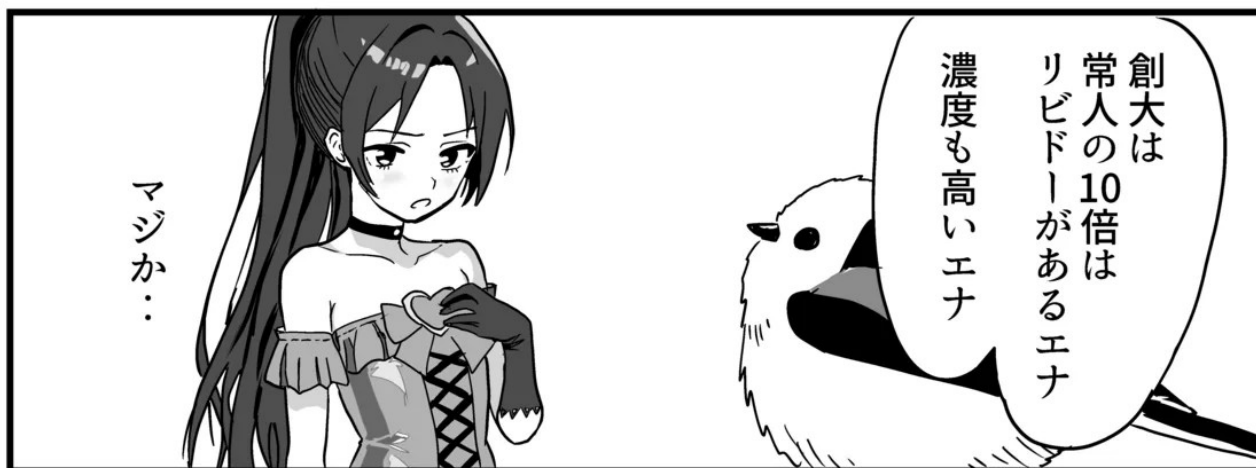


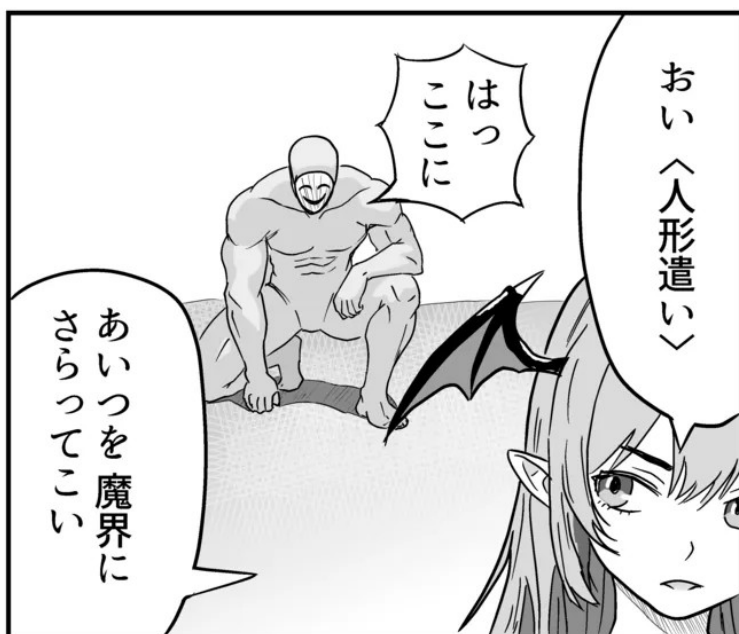












それイケ！
魔法少年



《名前》魔法少年レッド / 赫奕 創大

《状態》衣装は少し恥ずかしいが，精魔を倒して
強さを誇示できることが嬉しい
最近二次性徴が始まった

《経験》

経験人数	0体
イカされた回数	0回
オナニーした回数	0回
中出しされた回数	0回
搾り取られた精液量	0ml

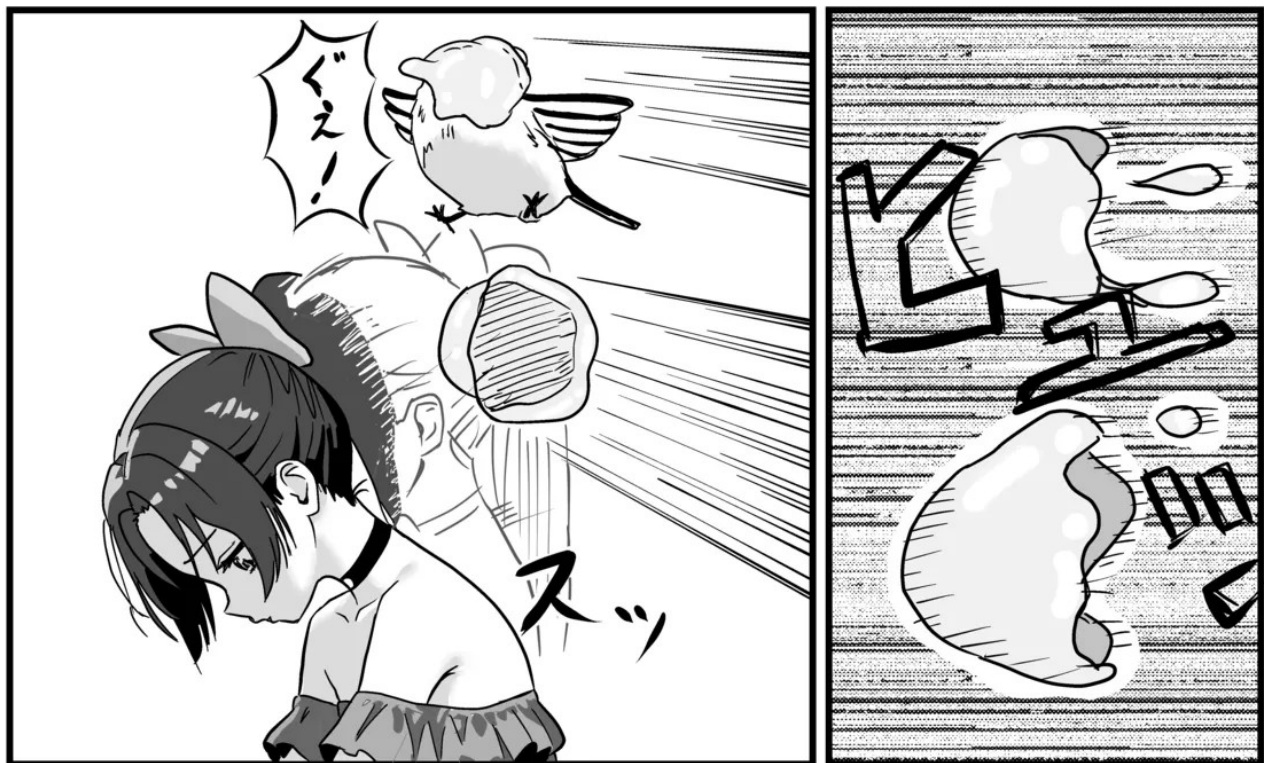
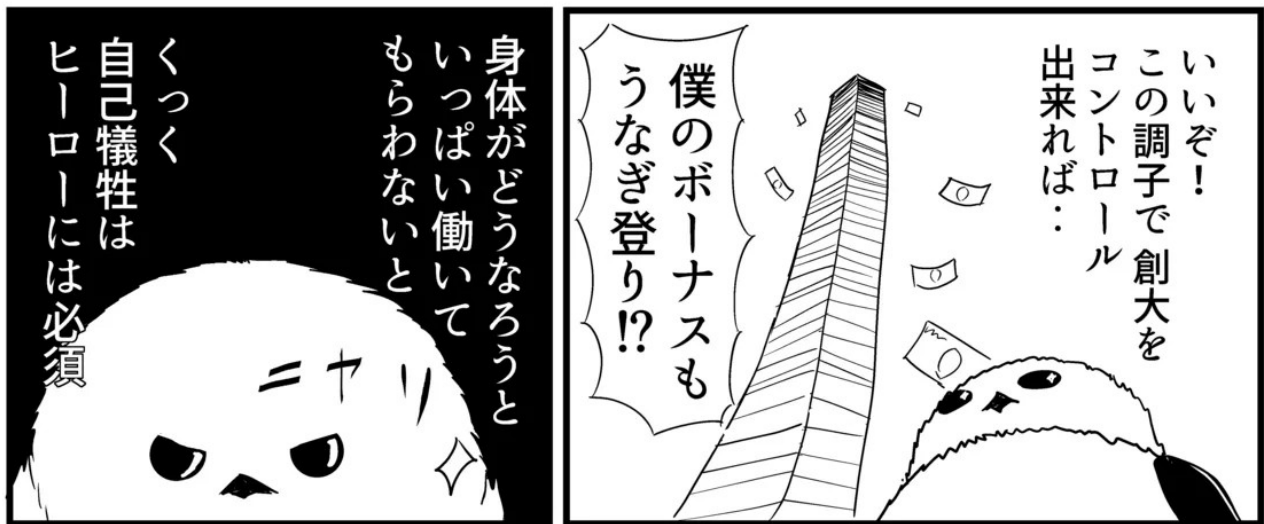
《最新の性交》

なし

《開発度》

耳	3/10
口	0/10
首元	0/10
乳首	0/10
背中	0/10
ペニス	1/10
アナル	0/10
ふともも	0/10







惜しかったですね
弾切れがなければ
私も危なかった

くそっ：
触るな
気持ち悪い

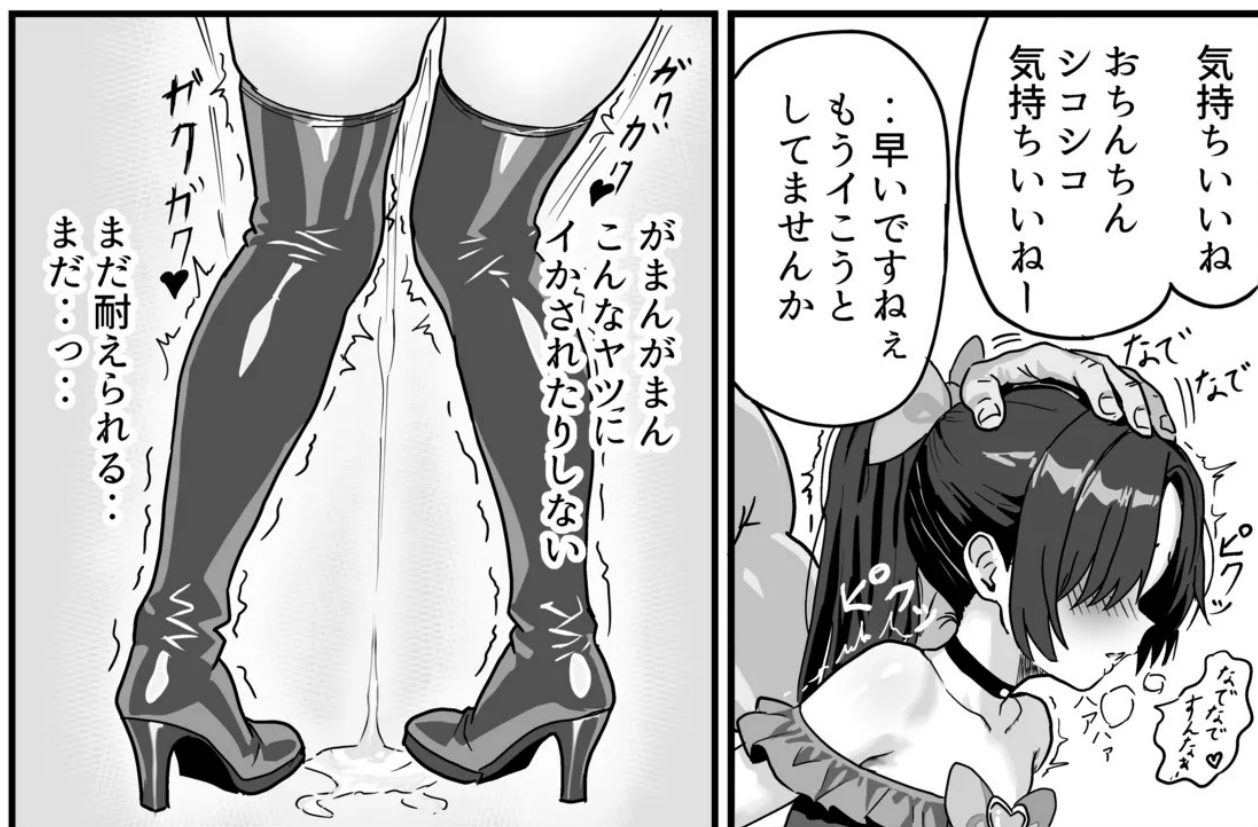
我慢汁こんなに
垂れ流して
説得力が
ないですねえ

くう…うつ
うるひゃい…





～30秒後～



それにしても
あなた：

耳弱いの
バレバレですよ

耳元で喋ると
おちんちんが
びくびく
反応してて
わかりやすいですね

オレが
耳弱いの
もう
ばれてる！

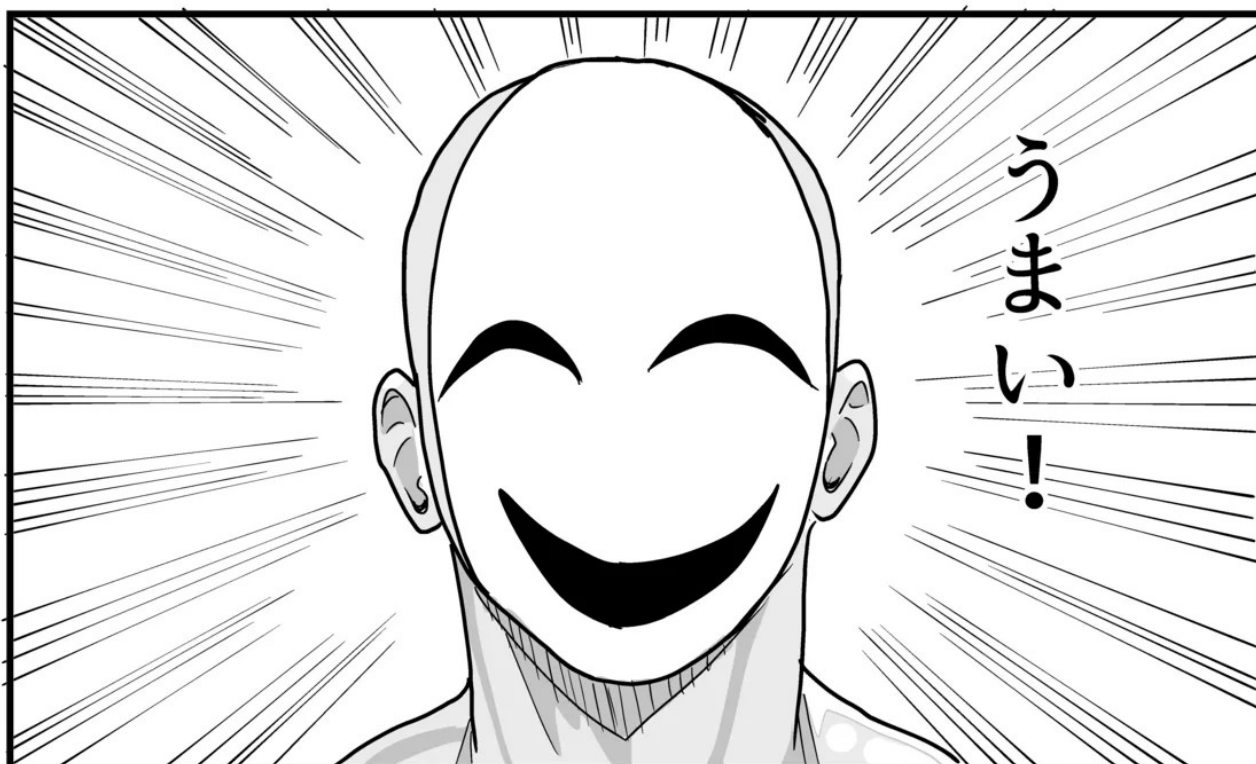
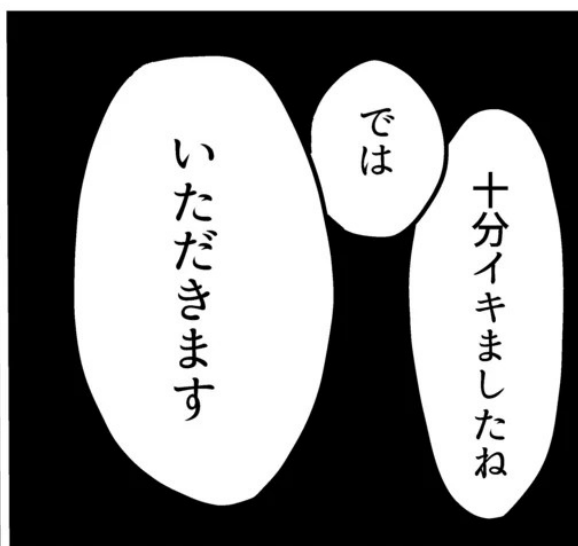
そろそろ
食べ頃ですね

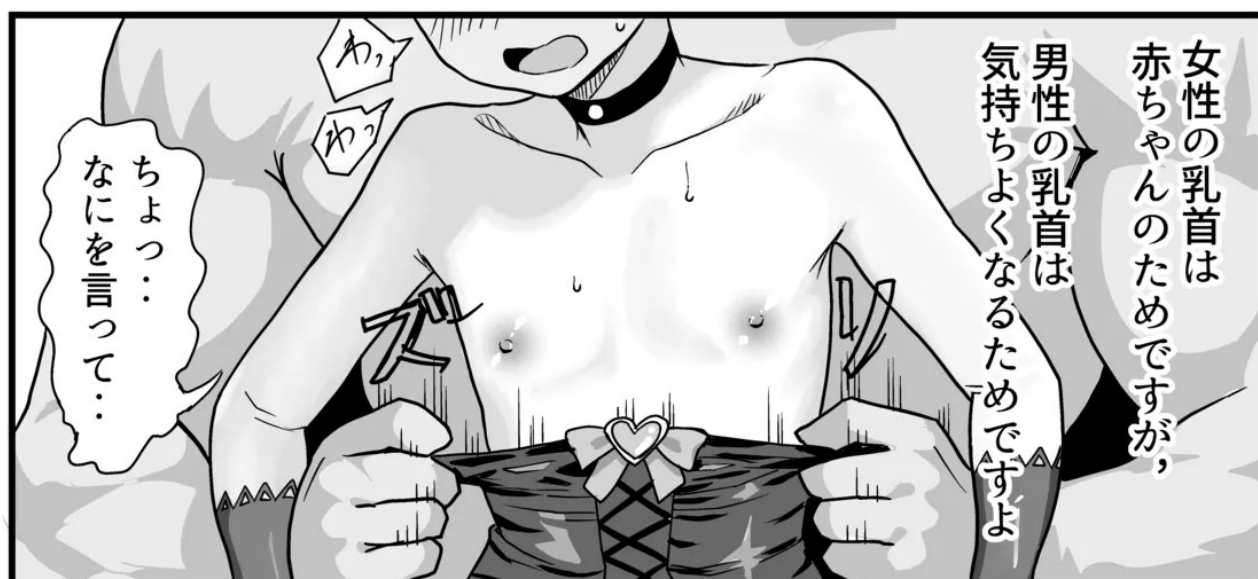
いいですよ
イカせてあげます

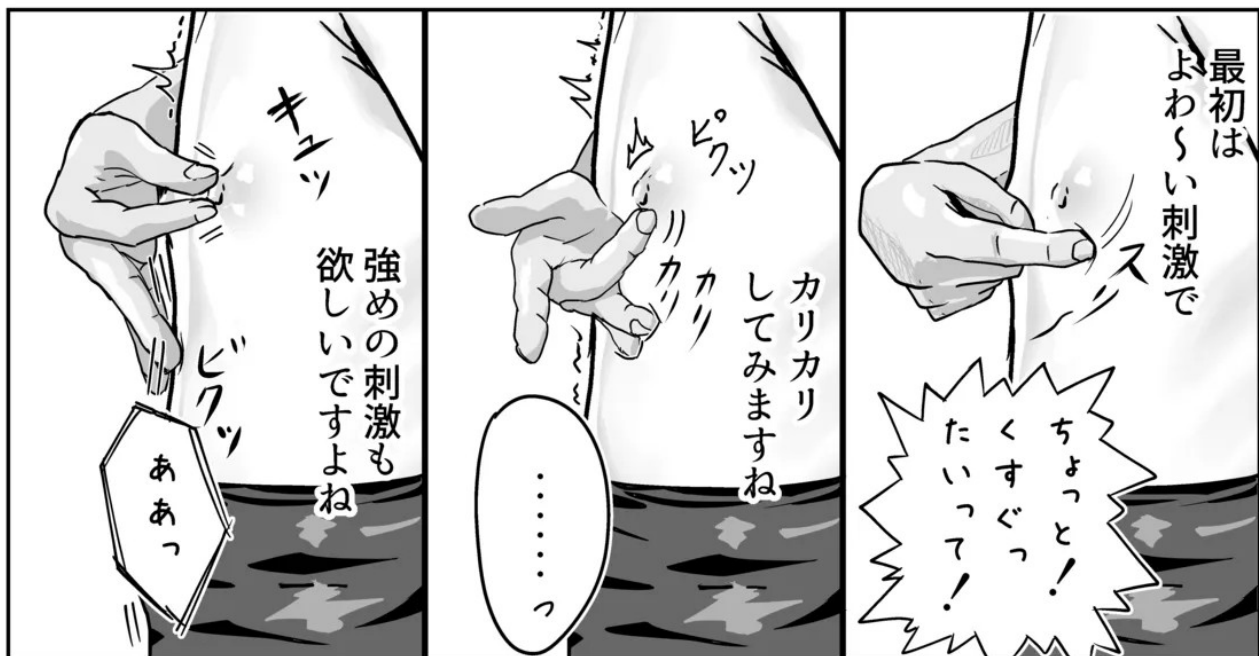
だめだめ
みみだめえ
ぞれぞれしちゃうからあ
おちんちんと両方いじめるの
反則♡♡♡

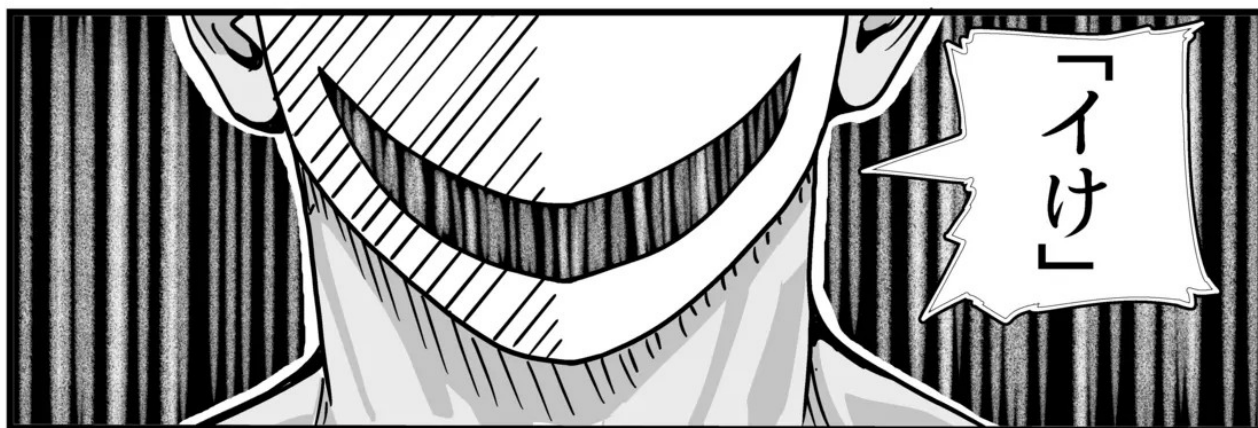
あっあっ♡
なんか
来ちゃう♡

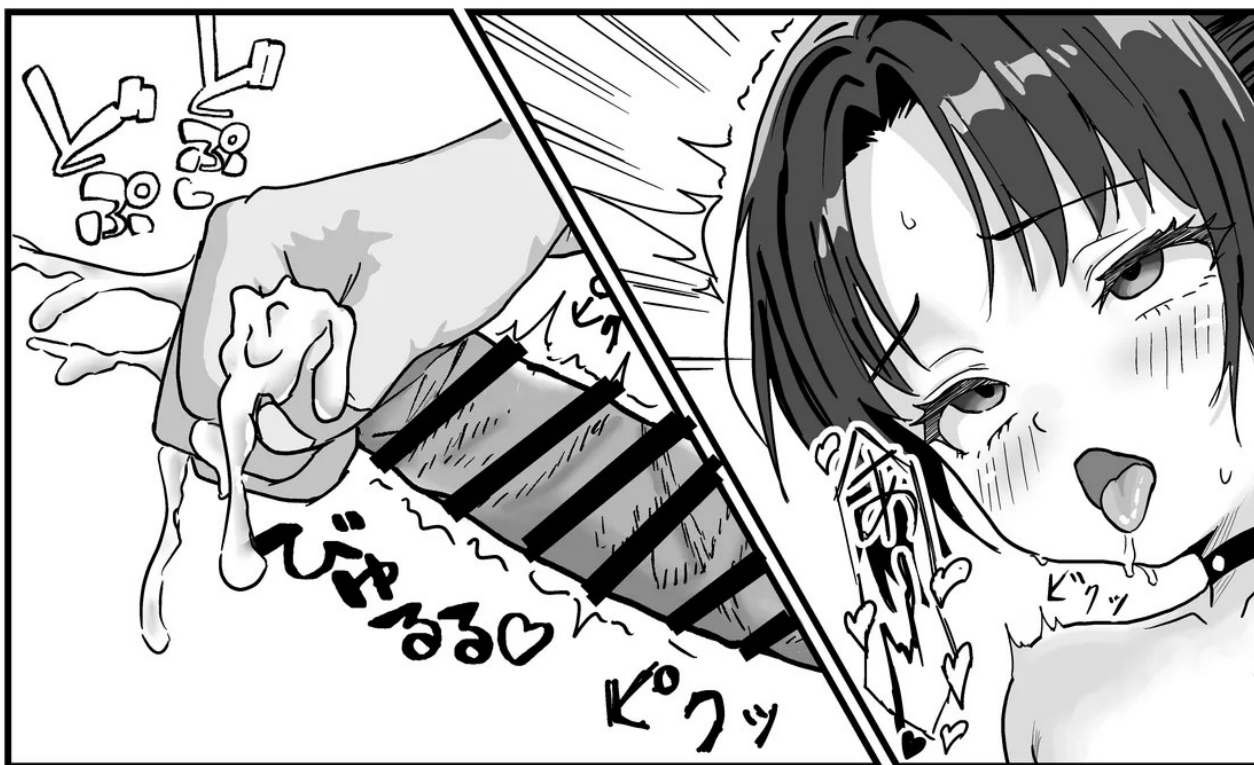
やだっ
こわい
こわい
なんかきちゃう♡♡♡
あっ♡♡♡
あっ♡♡♡

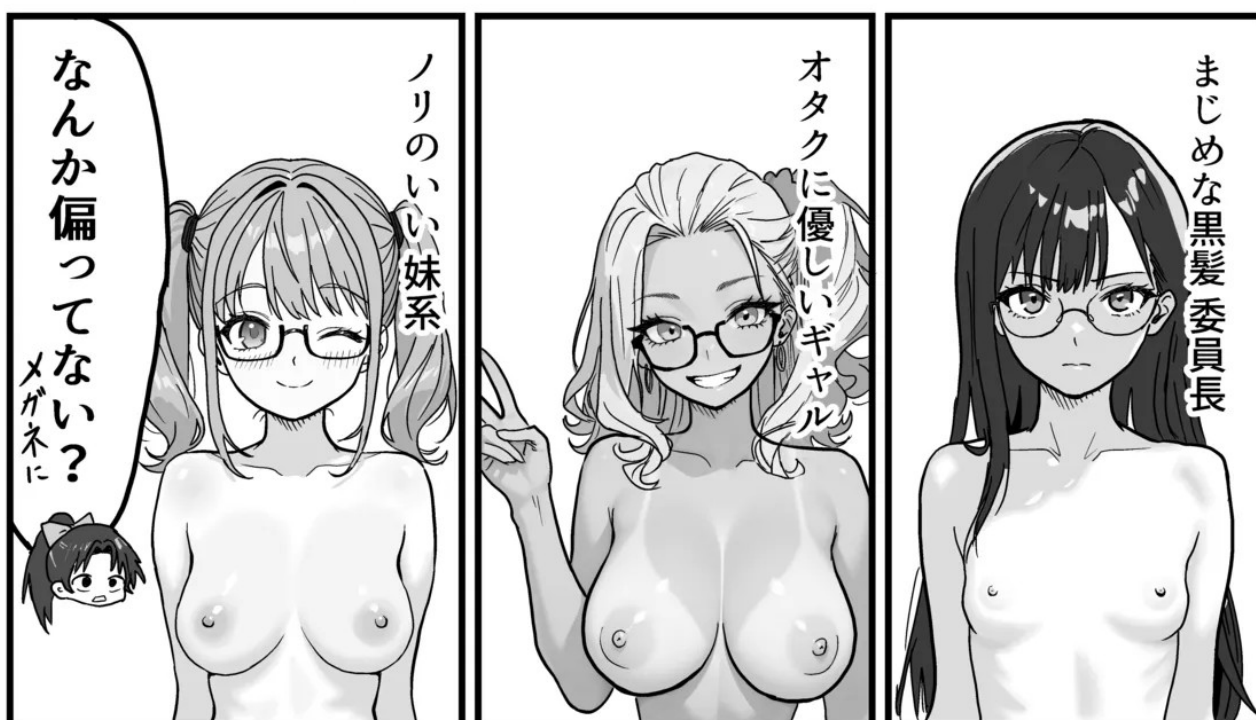
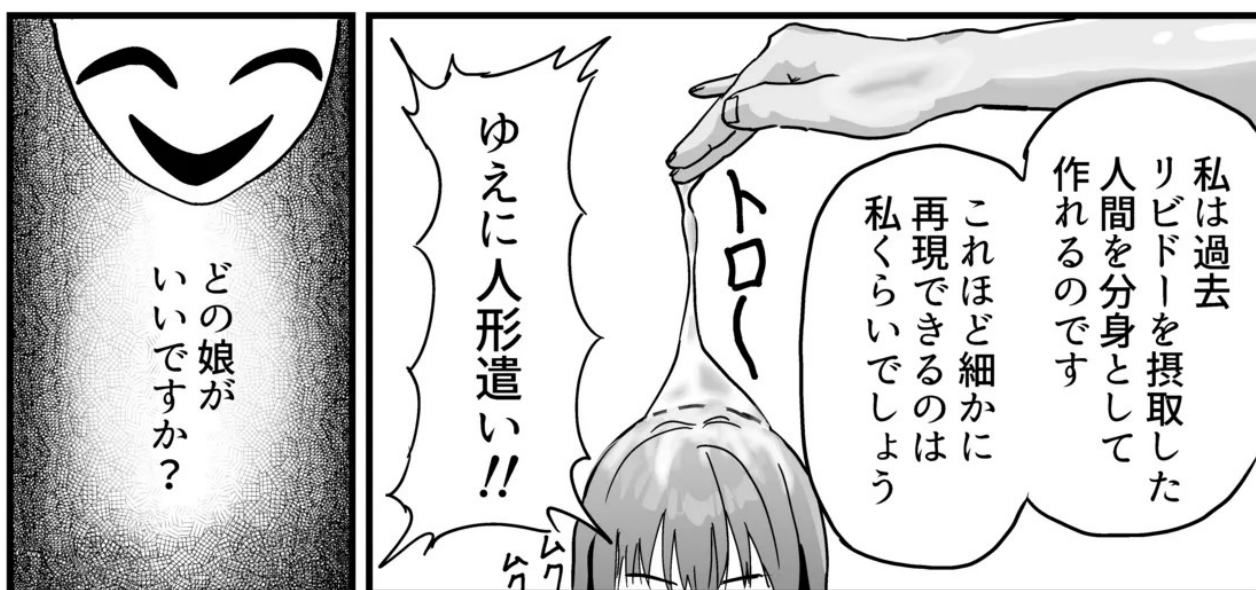






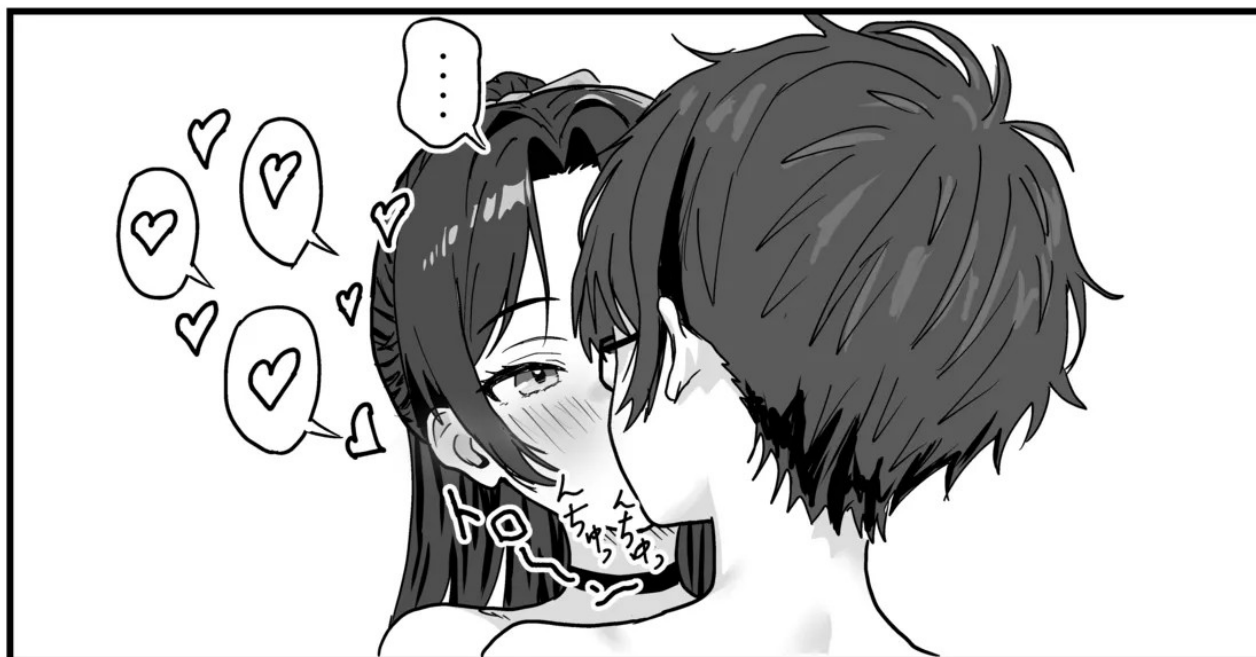


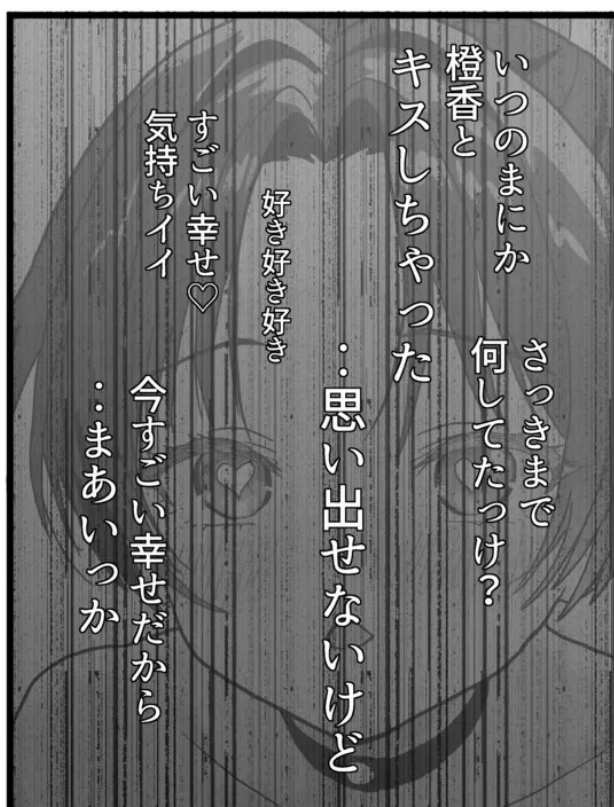


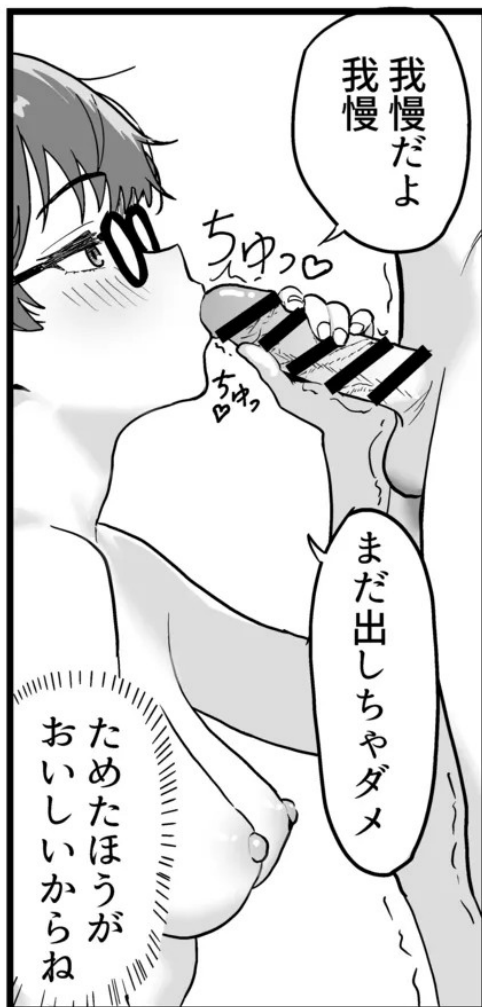




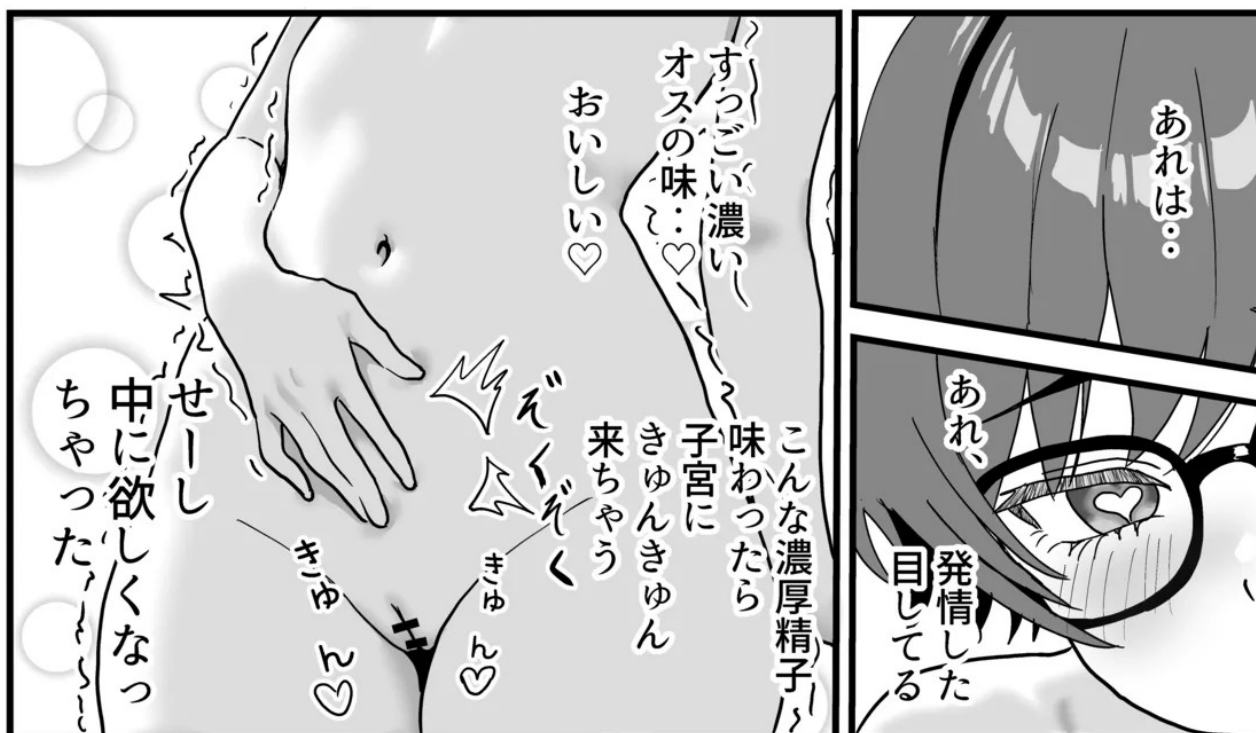
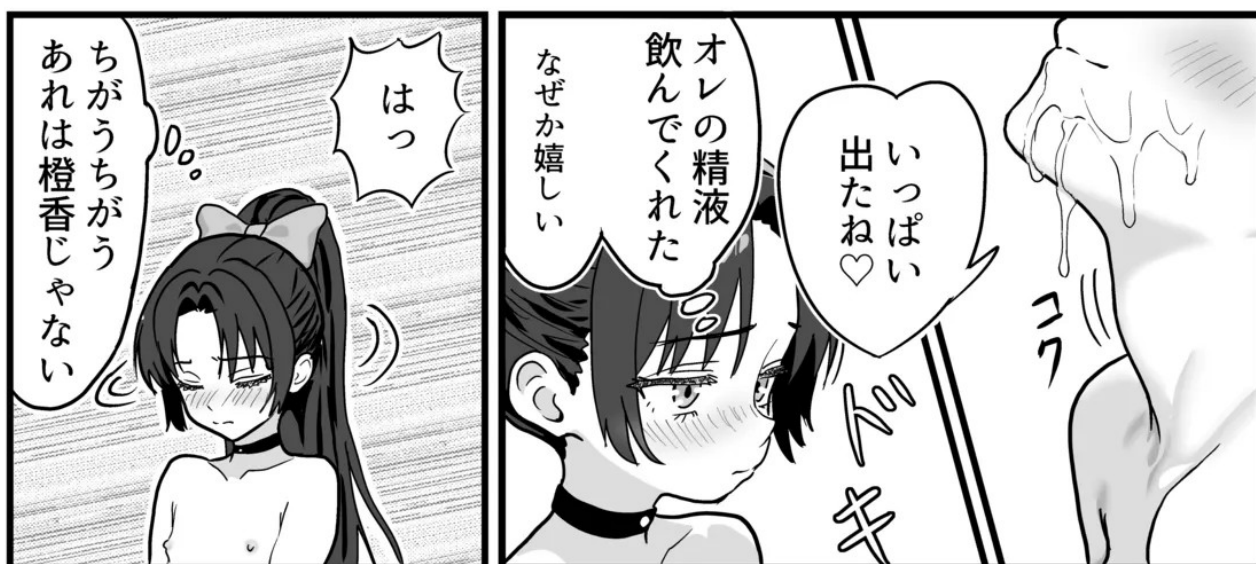




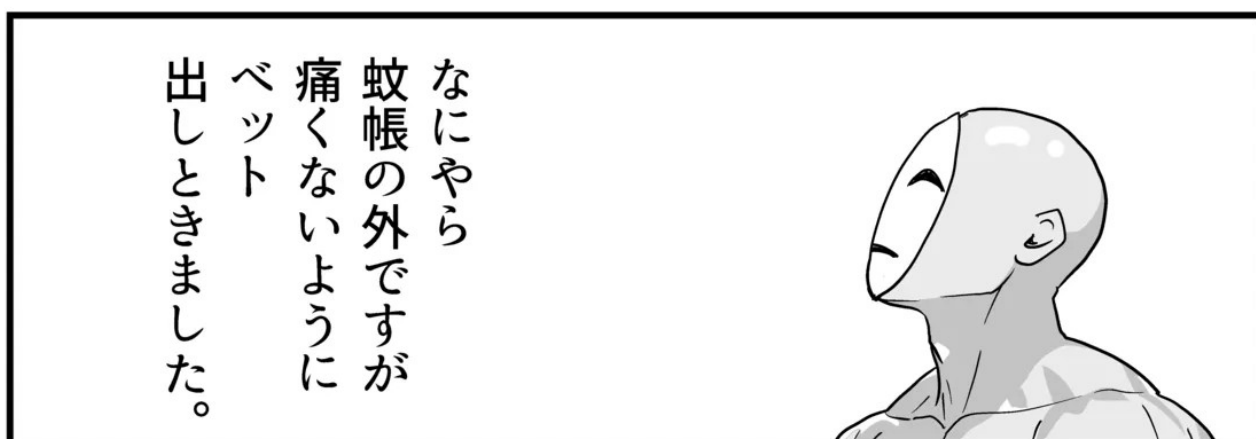


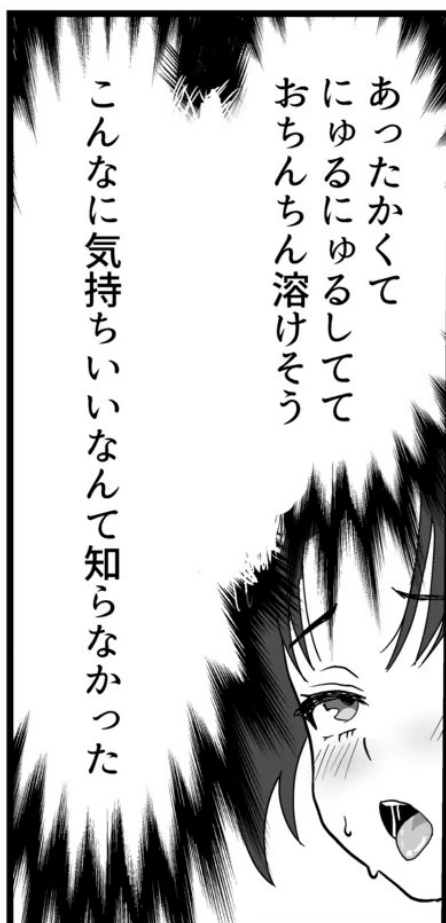
















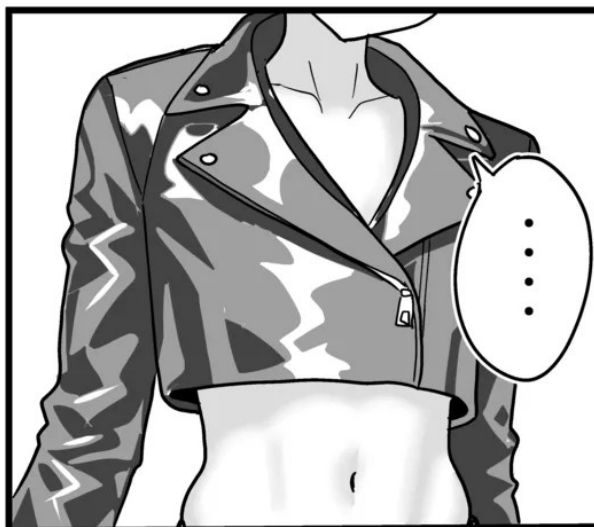
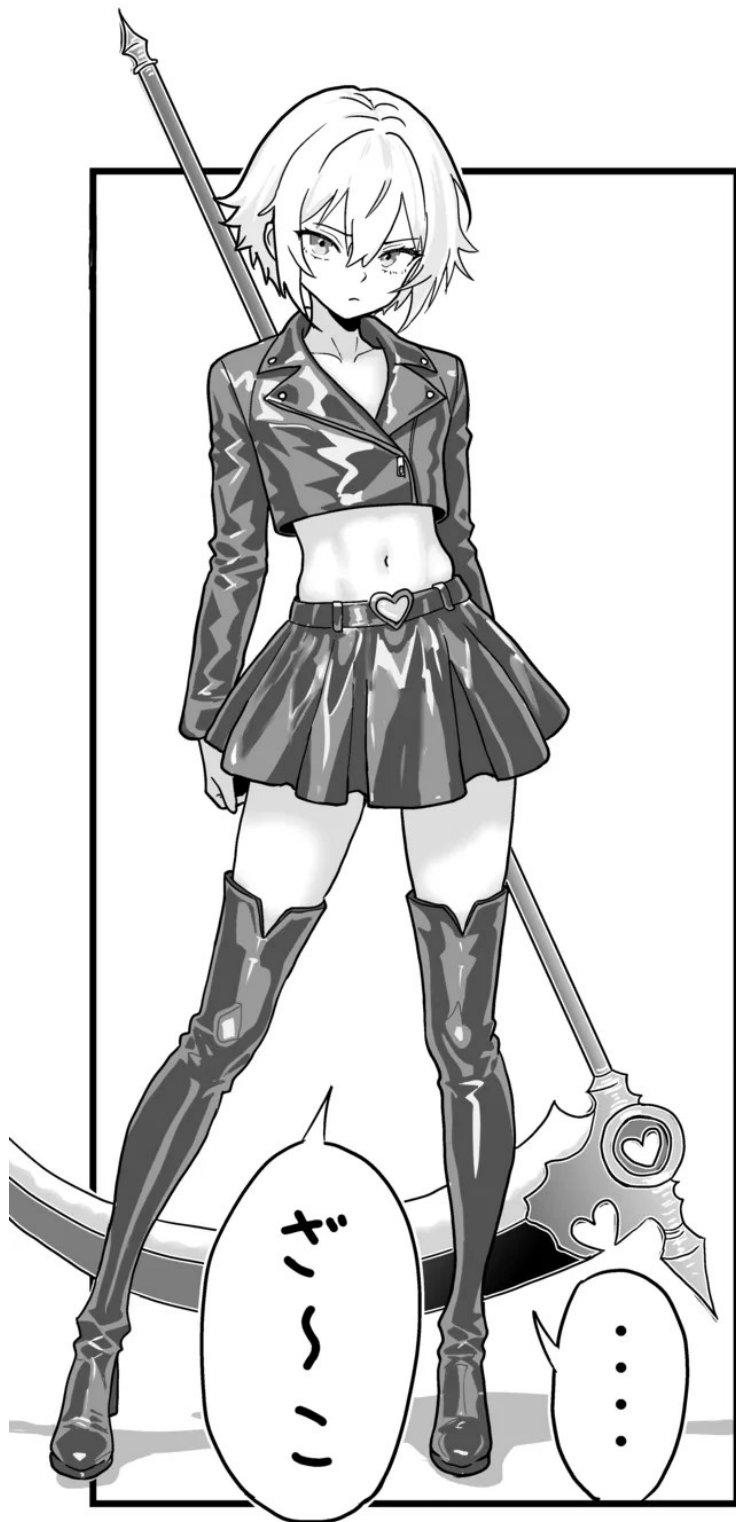






ばかな!!

この私がサア
切られるまで
気づかない
など……



おまけ1

《名前》魔法少年レッド / 赫奕 創大

《状態》精魔にリビドーを搾り取られた疲労と助けられた安心感から気絶中。助けられたことには感謝しているが、ザコと呼ばれた屈辱が心に引っかかっている。

《経験》

経験人数	1体
イカされた回数	6回
オナニーした回数	0回
中出しされた回数	0回
搾り取られた精液量	150ml

《最新の性交》

仮面をつけた精魔に体を開発され、少し好意のようなモノを抱いてしまった。新たに乳首イキを覚えた。

同級生の橙香に似た精魔に何度も射精した。学校で橙香に会ったときに、思い出し勃起しないか心配。

《開発度》

耳	6/10
口	0/10
首元	0/10
乳首	6/10
背中	0/10
ペニス	7/10
アナル	0/10
ふともも	1/10



おまけ2



僕は思ったのです。
真に男性向けのエロ本たり得るのは男の娘モノだと。

一般的な男性向け成人誌ではかわいい女性が気持ちよくなっていることが多く、女性の感じている表情や快感が描写されています。しかし、男性である僕にはその気持ちがわからないのです。子宮で感じる事などできないのです。そのため僕のように主人公に感情移入/自己投影するタイプの場合、主人公にはおちんちんがある方がよいのです。なら「竿役の男のアへ顔があればいいのか」と言われるとそれは違います。男のイキ顔など別段見たくないのです。かわいい子が気持ちよくさせられている描写が見たいのです。というわけで男性向け成人誌において男の娘モノが最適解だと強く信ずるところであります。(ふたなりはNO)



左記はpixivリンク
サークル：おにからすだち

※この作品はフィクションです。実際の団体・魔法少年とは一切関係ありません。
※18歳未満の閲覧および本作品の一部またはすべてを転載・複製・Web上へのアップロードを禁止いたします。

それイケ!
魔法少年